



明けましておめでとうございます。  
皆様本年もどうぞよろしくお願いたします。  
新年最初の本誌は、毎年恒例となりました  
代表 田中のインタビュー記事をお送りいたします。

## 2022年を振り返って

一昨年の12月頃はコロナの流行が一度落ち着き、秋冬物の動きも良くなっていたので「今年は良くなるんだな」と思っていたら、1月の半ば頃からコロナが再流行し始めたことによりブレーキがかかってしまいました。景気回復しそうだなど思っていたところで腰砕けのようなスタートだったのを覚えています。  
夏にはタイへ視察に行きました。その他の国は見ていないですが、お客様からも海外出張へ行かれたと聞きするようにもなり、海外での街中への人の動きはかなりあると感じました。消費も含めた様々な経済活動は戻ってきた印象です。

コロナの影響で人々のお金の使い方は変わってきました。その中でもファッションにはそんなにお金を使わなくてもいいんじゃないかという考えがあったり、ラグジュアリー系や百貨店なども厳しいと言われた時期もありましたが、2年以上経って、その反動が少し戻ってきているように感じています。

お客様からも次の春夏の動向として伸びそうだというお話を多くいただきますし、気持ち的にも、実生活の面でも、いよいよこの長いコロナ禍を乗り越えていくのではないかと期待しています。

## 2023年に向けて

社内でカイゼン活動をしてきて、数値的にも成果が出てきていることを実感しています。しかし、世の中では様々なコストが上がってきているので、今まで以上に何をしていくかを考えていかなければならないと感じます。

そこで、ロボットの導入を検討しており、規模の大きなお客様で、2月頃にスタートできたらと考えています。店舗振り分けなどをロボットに任せて、検品などの人にしかできない業務は今まで通り人でやっていくというような役割分担をしていきます。また弊社は物流もやりながらQCや修理、EC対応など多岐にわたる対応をしていることが特長で、都内にあることで小回りも効きます。今後もそのような機能の強化をしていく予定です。

## 今年を表す一文字



兎年ということもあり、「跳」を選びました。世の中が沈んでいたところからようやくやり、ジャンプアップしていきたいという想いを込めました。



オーパスで作成した手ぬぐい

## 新規事業『O-Perspective』

### (オーパス)にひら

現在、予想以上に引き合いをいただいでいて、ニーズがすごくあるんだと実感しています。

世の中のにはこのようなサービスが増えていくでしょうから、その中で弊社がノウハウや運用スキルを高めていかなければならないと感じています。もちろん、紙へのプリントとは異なりますので、柄の色合いや大きさも大事ですし、生地が落ち込んだときの風合いや、生地の種類によっても色の出方が違ってきます。実際に生地にも多々あります。また濃色にする場合はその分インクを使うので、少し生地が固くなります。その他にも乾燥時の温度と時間など、様々な要因が合わさって、色の出方と風合いや堅牢度に違いが出てきます。なんでもかんでも同じレシピで進めるのではなく、色々試しながら変えていく必要があります。

洋服に限らずクッションカバーやカーテンなどのインテリアファブリック、また、合成皮革へもプリントが可能なのでソファやバッグ・靴などへ活用しても面白いと思います。小ロット(1反・30〜40m)からのニーズにも応えたいと考えています。

### ◆～レザーファッションを楽しむ～◆

革には大きく2種類あり、1つは[天然皮革]、もう1つは[人造皮革]です。人造皮革は基材の違いで[合成皮革]と[人工皮革]に分かれ、合成皮革はソファや家具の分野に使われることが多い素材ですが、動物保護の観点やSDGsの意識も広がり、ファッション分野においても人気の素材となった印象があります。

買い求めやすいフェイクレザーを気軽にファッションとして楽しみたい、本革であれば風合いや経年変化を、お手入れを楽しみながら長く愛用したい、など用途やお好みで冬のファッションに取り入れてみては如何でしょうか？



詳細 & お問い合わせ先



HP



Instagram

マーケティング部 プリント事業室  
O-Perspective 担当 荒井  
メールアドレス  
ots\_print@e-ots.co.jp

「OpenTalkSを見た」  
とお伝えください！